

女がいつまでも元気だということは  
「セクシー現役」でもありますね。



さて「セクシー」って、女の専門用語?専売特許?

いいえ、お笑いの松本人志さんが、こんなこと書いています。

「お笑いなんかやっても、モテへん」と思っていた自分が間違っていたことに気づかされた。その中心にいたのが仲助竜助だった。そりゃ、B&Bやツービートもいたけれど、他が見えなくなってしまうぐらい、僕にはなんとも仲助竜助だった。それはなぜか。これは抽象的な言い方になってしまいますけれど、仲助竜助はどこか「セクシー」だった。色気というものがあった。そこが他のコンビと決定的に違うところで、僕はそこにまいてしまったのだ。この「セクシー」という言葉の意味を、うまいこと伝えられないのがもどかしいのだが、やっぱり「人の心をくすぐる」何かを仲助竜助は持っていたのだと思う。(松本人志)



人の心をくすぐるために、自分はどんなスキルや道具を持っているのか?  
たまには振り返ってみましょう。「セクシー現役」って、やっぱり大切な女の勲章!



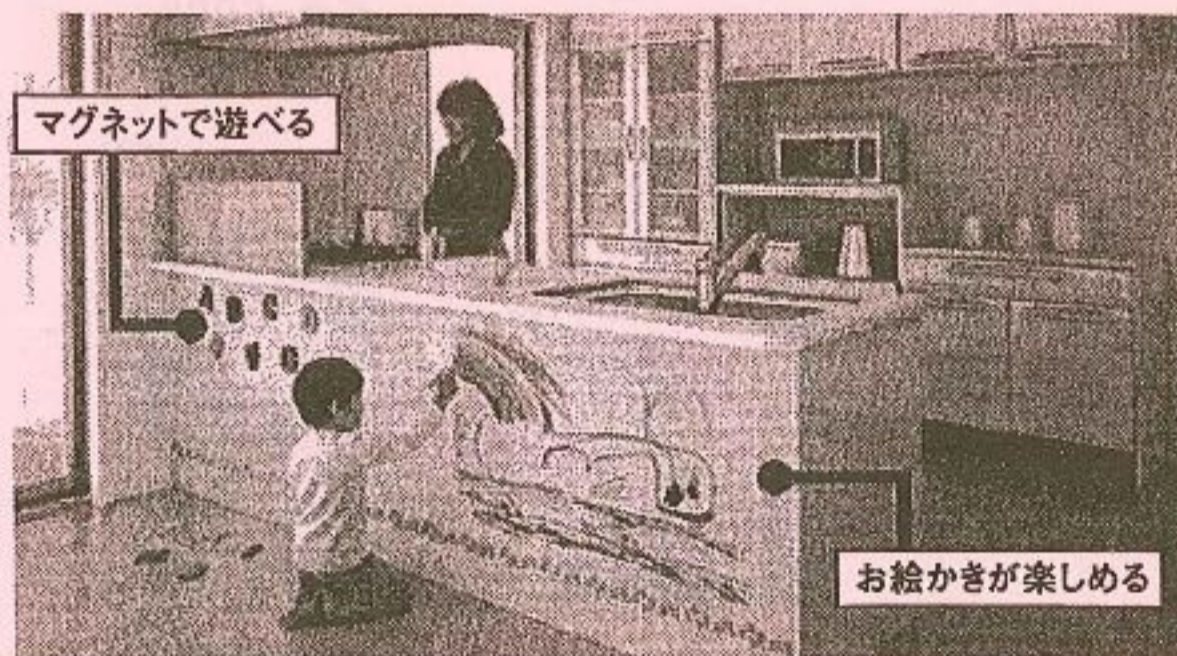
これはちょっと「驚き」。

キッチンが「楽しいお遊びのコーナーに変身」  
お絵描きキッチン(タカラスタンダード)



キッチン調理の為だけの空間ではなく、  
料理中にもお子様が近くで遊べ、家族のコミュニケーションが広がります。

調理をしながら家族と会話を楽しんだり一緒に料理を作ったりできる対面キッチンが人気となっていますが、対面キッチンのダイニング側でお子様が遊ぶことができるのが「ホーローダイニングパネル」。



マグネットで遊べる

お絵描きが楽しめる

このパネルは、汚れが染み込まないお手入れカンタンな高品位ホーロー製なので、油性マジックで絵を書いても大丈夫。調理中にお子様はすぐそばでお絵かきを楽しめ、書き終わった後は拭くだけでカンタンに消すことができます。

さらにマグネットが使用可能。磁石を使ったおもちゃで頭を使いながら遊んだり、お絵かきで表現力を伸ばしたりと、子どもの情操教育にも役立てられます。

写真は、ホーローダイニングパネル お絵かきイメージです。

▼お問い合わせは

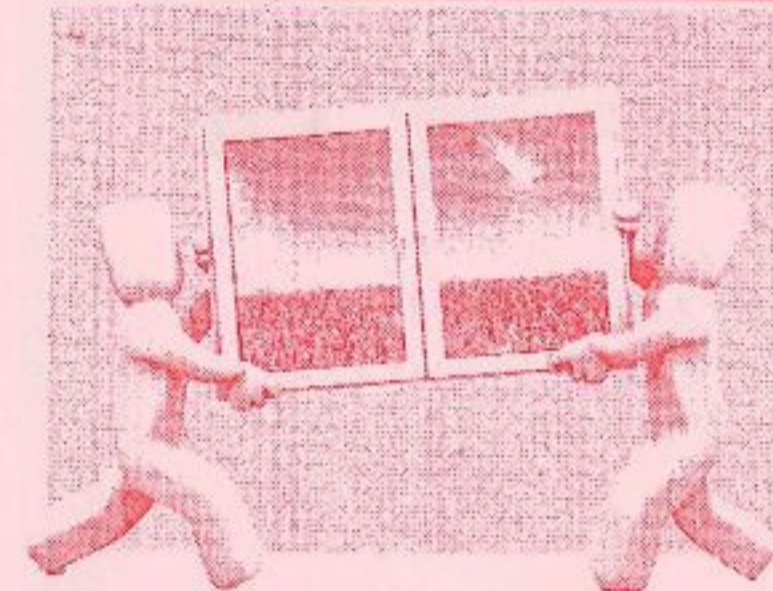
春建設 〒840-0861 佐賀市嘉瀬町中原 2015-11 Tel.24-0749



その心は、大量生産、大量消費、大量破棄社会からのGood Bye!  
あり余っているから、すぐお金で買えるから、いつでもどこにでも捨てられるから。そんな社会と暮らすが、本当に望んだものなのか、快適なのか。これからはまず疑おう。それには、きちんとして、わかりやすく一流の物差しがある。その物差しは、風土と季節、文化的、伝統的がいい。みんなに共通で、しかも変わることがないから。日本人なら毎日の生活の中で使いこなせるから。

# 大切にしよう新聞

2010.12



## 暮らしの歳時記 インテリアの室礼

四季折々の行事の心や季節の情緒をあらわすことのできるインテリアの室礼。昔から伝えられてきた暮らしを大切にしながら、これからの生活をより豊かに楽しんでいきたい。そんなちょっとアレンジしたインテリアの室礼をご紹介します。

## 12月の歳時記 「冬至」の室礼

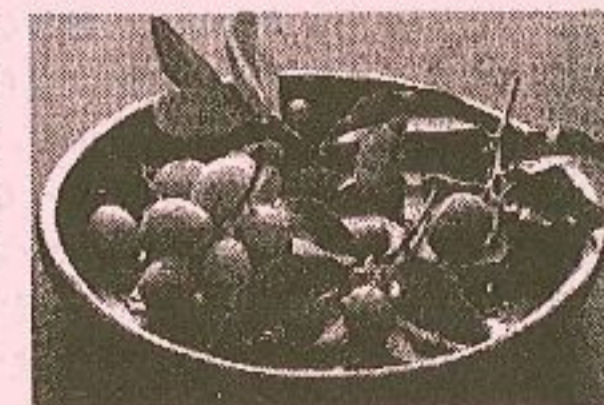
冬至は、一年中で最も昼の短い日。今年は12月22日。この冬至を境に少しずつ日が長くなることから、この日を「一陽来復」と呼ぶそうです。冬至を境に運が向いてくるとしています。つまり、みんなが上昇運に転じる日なのです!



冬至の過ごし方として、この日に柚子湯につかり(陽の気で満たす)身を清めることは知られていますね。ももとの意味は運を呼びこむ前に厄払いするための禊(みそぎ)でした。冬が旬の柚子は香りも強く、強い香りのもとには邪気がおこらないという考えもあったのです。柚子湯には血行を促進して冷え性を緩和したり、体を温めて風邪を予防したり、果皮に含まれるクエン酸やビタミンCによる美肌効果があります。さらに、香りによるリラックス効果もありますから、昔の人の知恵は本当に素晴らしいですね。今年はそのことを頭に思い浮かべながら、柚子を丸ごとお風呂にたくさん浮かべて、ゆっくりとお湯につかり柚子湯を堪能してみませんか。



の対象となります。いろいろな食材を一つの器に盛ってもいいですし、種類ずつガラスに挿したり、カゴに盛ったり、陶器の器に盛ったり、和食器に盛ったり、とおしゃれに工夫して、飾り付けをしましょう。それぞれをリビングやダイニング、玄関などにディスプレイし、冬至に備えてください。「運盛り」は縁起かつぎだけでなくお供えした後はその食材を食べ、栄養をつけて寒い冬を乗りきるための知恵でもありました。



冬至の室礼としては、主として南瓜や柚子などを器に盛りお供えします。これを「運盛り」と呼びます。冬至には、「ん」のつく食べ物を食べると縁起が良いといわれていて、「ん」が運に通じ、吉運を呼び込むようにと願った盛り物です。他にも「ん」のつく食べ物としてにんじん、きんかん、れんこん、ぎんなん、などがこの「運盛り」

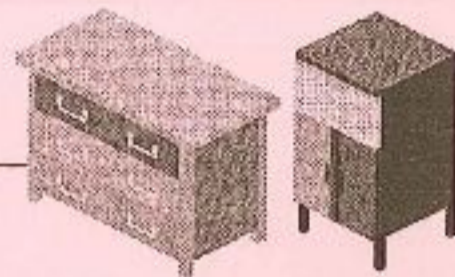


この冬至を境に日はだんだん伸びていきますが、むしろ寒さはますます厳しくなり本格的な冬はこれからです。昔からの知恵を上手に取り入れて冬至を過ごし、これからやってくるクリスマスやお正月などのイベントに備えましょう。

# 大切なものを賢くしまう 収納術



「もの」がいっぱいの現在。住まいの収納は大きな関心事のひとつになっています。住まいにある様々な「もの」はその収納場所や収納方法に決まりはなく、それぞれのライフスタイルで自由にできるものです。豊かな発想と自由な表現で楽しい収納を考えましょう。



## 収納は整理と整頓を分けて行う。

安くてもいいものがいっぱいの現在では、住まいに様々な「もの」があふれて収納するにもひと苦労です。便利なものが次々に出てきたり、欲しかったものが手ごろな価格で販売されていたりするとつい買ってしまいますよね。さらに100円均一のショップに行こうものなら、必要のないものまで買ってしまっ、気がついたら住まいには「もの」があふれてとんでもないことに...

そんな「もの」に囲まれた生活には賢い収納術が役立ちます。その秘訣は「整理と整頓を分けて考える」こと。

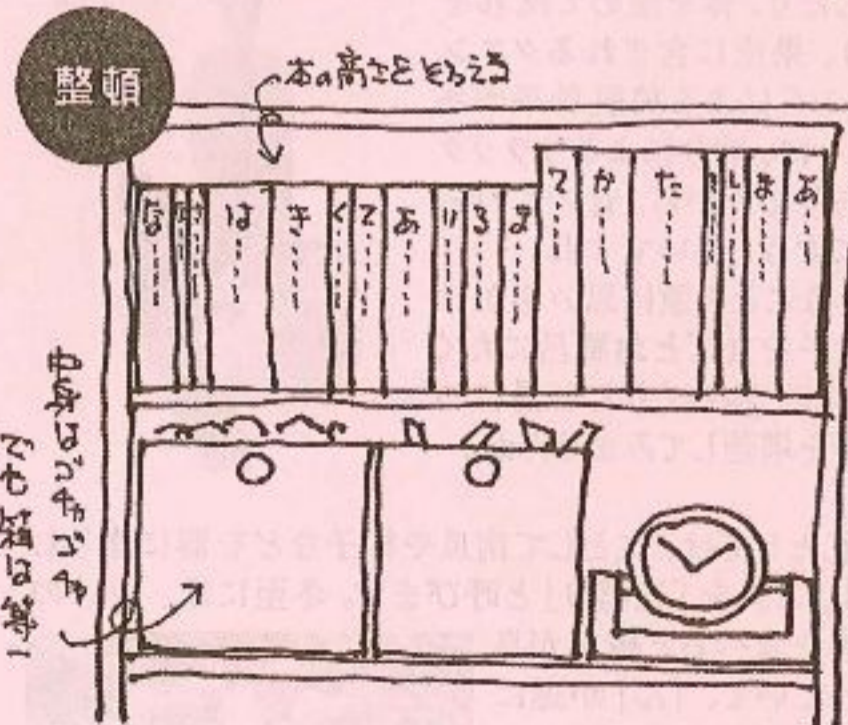
- 「整理」とは...必要なときにすばやくその「もの」を見つけ使える状態にしておくこと。
- 「整頓」とは...見た目がきれいで気持ちよく暮らせるような状態にすること。

いかがでしょうか、何となくこの違いが分かっていただけましたか？

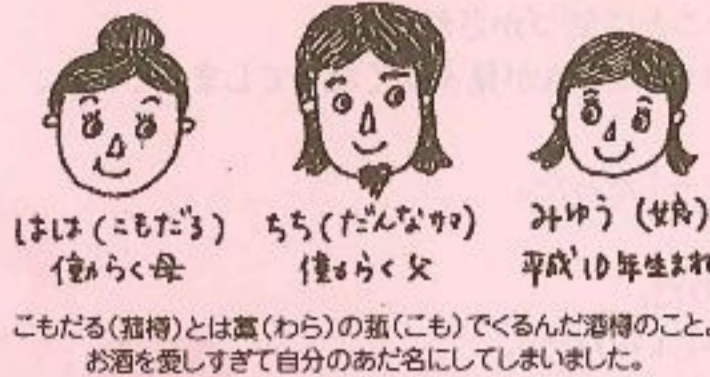
このように考えると「整理するための収納」と「整頓するための収納」には違いがありそうですね。さらに「整理」はその人の習慣や癖といった個人の利便性(使い勝手)が影響してくることが分かりますし、「整頓」は気持ちよさとか恥ずかしさといった個人の主観が影響することが分かります。まさに「収納」はその人やその家族のライフスタイルで決まるといえますね。

ということは、収納術に一般的な解決策などなく、その人やその家族が気持ちよく暮らせる独自の収納を考える必要があるということです。TVや雑誌で紹介される収納術がどうもうまく活かせないとお嘆きのあなた。自分には片付けや収納のセンスがないと落ち込む必要などまったくありません。手軽であなたのライフスタイルにあった収納術は必ずあります。

この紙面を使ってその自分らしい収納術のヒントをご紹介しますので、ぜひ自分なりの「収納」を身につけ、大切なものを賢くしまっておける収納術で豊かな暮らしを実践してください。



# こもだるさんの 子育て日記



## あいさつは基本

超未熟児 835gで誕生した美優。  
超未熟児ちゃんなので、さすがにグングンと大きくなれませんが毎日ちよびと成長します。

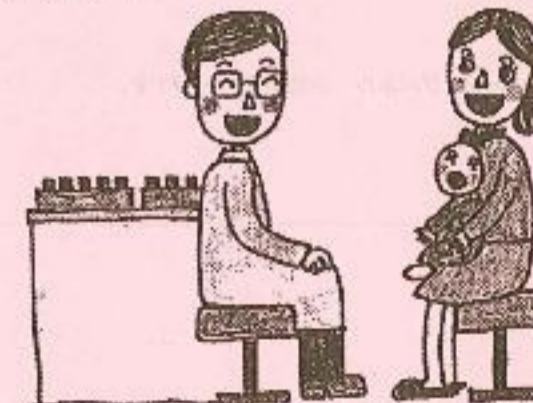


そんなある日、ポリオという口から飲み込むワクチンを接種しに保健所へ行きました。

いつもとは違う雰囲気不安になって泣いている子が多い中、のうてんきな美優はニコニコしています。

美優の順番が回ってきました。大きなお口を開けて、ワクチンを入れてもらいました。

ごっくん! したその瞬間  
なんと、美優は先生に「ごちそうさまでした」を言ったのです!



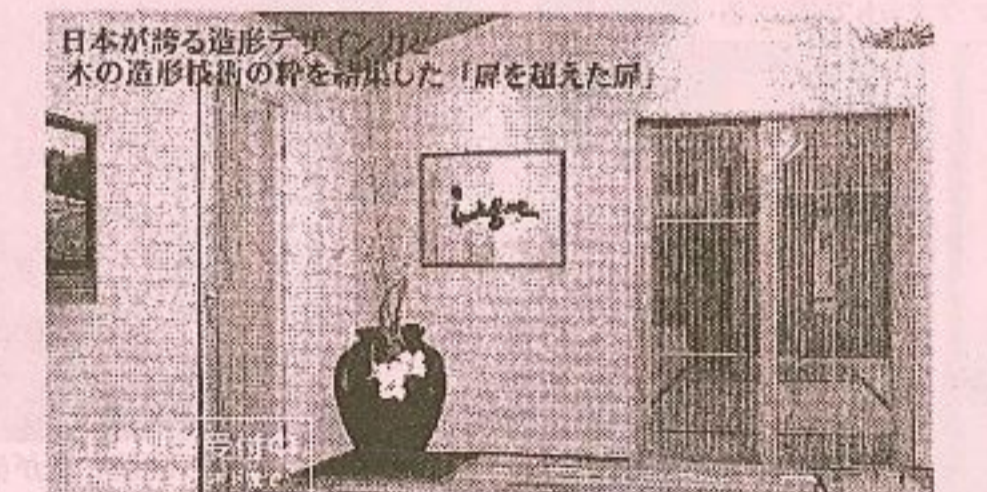
先生も看護婦さんも私も大爆笑でした。「あいさつは基本」ですものね。



家が完成するまでには、さまざまな専門の職人が関わります。その職種はおよそ二十。面白いのは棟梁の下に、突如現れ、自分の持ち場が終わると、疾風のように去っていくありさま。家づくりを知るには多々あれど、職人の役割を知れば、それは生きた勉強。

## たかが「建具」、されど「建具」。 新築でもリフォームでも、 予算がなくても、こだわりの「建具」で 自分だけの空間が創造できる。

建具は大手メーカーのカatalogの中から、プランに合わせて、スペースにあわせて、そして自分の好みに合わせて選ぶようになりましたが、本当はもっと個性的な建築材料です。なんとこの建具は2010年のグッドデザイン受賞作。これは縦格子の繊細なデザインが印象的で、素材は国産の杉。日本の伝統的な建具を見つめながら、新しい感性をプラスし、リビングの仕切りを主な用途に作られました。ただ昔ながらのものを昔のままに作っているのとは違い、「伝統を現在に伝承する職人技」は住まいづくりのこんなところに息づいているのですね。



日本が誇る造形デザイナーの日本の造形技術の粋を結集した「屏を超えた屏」  
水六輔「職人」より  
売るために品物をこしらえたことは  
ありません。  
こしらえたものが、  
ありがたいことに売れるんです。